

2. 指標設定

成果指標	指標名	生産意欲と所得の向上		目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	—				総合計画／後期基本計画において、基本施策(4-1-1)の重点施策としているため				
活動指標	指標	a	組織の育成		b	組織の再編		c		
	数値	目標	15組織		目標	1組織		目標	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
生産意欲と所得の向上		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 組織の育成	組織	15 組織	15 組織	15 組織
		100 %	100 %	100 %
b 組織の再編	組織	1 組織	1 組織	1 組織
		50 %	50 %	50 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
組織の未統合により事業に支障を来している
対応（改善点等）
地域の拡大による組織の再編を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

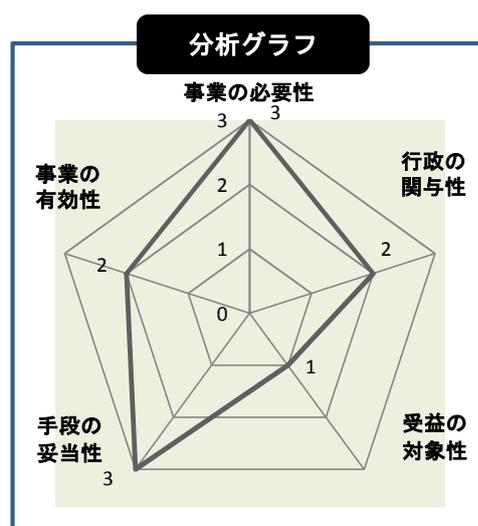
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		35,314	54,002	23,243	9,909
うち経常経費		27,837	18,850	8,320	9,909
財源内訳	国費	21,000			
	県費	213	746		
	市債				
	その他	5,572	8,425	14,923	
	一般財源	8,529	44,831	8,320	9,909
うち経常		5,964	11,591	8,320	9,909
事業費に係る人件費		13,440	13,139	16,340	6,011

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
引き続き事業の推進を行う

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 高齢化による戸数の減少していることから効率的事業推進をおこなうため
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 JAと連携を取りながら取り組んでいる
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 特に、衛生対策は住民の理解が必要不可欠であることから、その対応に当たっている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 高齢化や担い手不足の課題からはさげられない状況の中で、足腰の強い経営体を推進するには必要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 徐々に、地域の取組に変化が表れていると思われるが今後も活性化に向け取り組む



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき事業の推進を図るとともに、肉用牛購入資金貸付基金、乳用牛購入資金貸付基金貸付金の回収に務めること